



川島ホスピタルグループ広報誌  
Vol.5 | 2007

特集1

## 増改築進む

働きやすさと患者サービスの向上(1階)  
安全性と居住性の向上(2階)  
変わらない良さが残った新しい空間(3階、4階、5階)

特集2

## 禁煙の取り組み

Report

平成19年度実務実習指導  
薬剤師養成講習会に参加して

委員会報告

平成19年度事業計画

Photo Gallery

写真で見る川島ホスピタルグループ行事

平成18年度(2006)業績集



医療法人 川島会

●川島病院 ●川島循環器クリニック

医療法人 川島クリニック

●鴨島川島クリニック ●鳴門川島クリニック

社会福祉法人 飛鳥

●ケアハウス ●在宅介護支援センター ●デイサービスセンター ●ヘルパーステーション

# CONTENTS

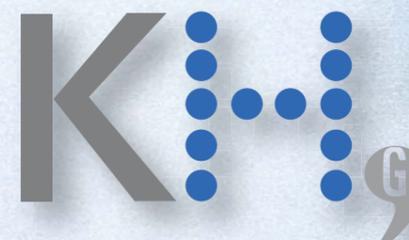
KAWASHIMA HOSPITAL GROUP MAGAZINE 2007 vol.5

2 特集1	<b>増改築進む</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 働きやすさと患者サービスの向上(1階)</li><li>● 安全性と居住性の向上(2階)</li><li>● 変わらない良さが残った新しい空間(3階、4階、5階)</li></ul>
8 ごあいさつ	<b>地域医療に貢献できる病院を目指し</b> 文◎水口潤(川島病院院長)
9 委員会報告	<b>医療機能評価認定更新について</b> 文◎山下敏浩(機能評価準備委員会副委員長)
10 特集2	<b>禁煙の取り組み</b> <ul style="list-style-type: none"><li>● 今年4月から禁煙手当の支給(たばこを吸わない人に)</li></ul>
12 事業計画	平成19年度事業計画
13 スキルアップレポート	平成19年度実務実習指導薬剤師養成講習会に参加して 文◎志内敏郎(川島病院薬局)
14 Photo Gallery	写真で見る川島ホスピタルグループ行事(2006)
16 プロフィール	川島病院ホスピタルグループのプロフィール
18 業績集	平成18年度 業績集(2006)



■表紙写真:那賀川の紅葉

那賀川の上流を遡っていくと色鮮やかに染まった紅葉が見られます。緑、黄、赤のグラデーションが鮮やかで思わず見とれてしまいます。最上流部には山一面が錦繡を羽織ったように美しい「高の瀬峡」があります。秋の一日を紅葉を愛でながら散策してみたいかたがでしょうか。気持ちも体もリフレッシュできるはず。



ロゴマークの意味

**Kawashima Hospital Group**

私たちのロゴマークには、3つのキーワードが含まれています。

**K**ind 優しい

- 患者さんを癒す精神的なケア
- 社会復帰を支援するリハビリ・運動療法

**H**onest 誠実な

- 正確な知識に基づいた医療
- 24時間サポート体制

**G**rowing 伸びゆく

- 先進の検査・医療機器を完備
- ITを駆使した情報管理

## 私たちの病院の理念

- 1 患者さんをはじめ、関係する方々との信頼関係を築きます。
- 2 病院経営の質の向上に努め、良質で効率的かつ組織的な医療を提供します。
- 3 地域社会の健康および福祉の増進に貢献することを使命とします。

## 私たちの病院の基本方針

私たちの病院は

- 1 患者さんや家族の方々との信頼関係に基づいた、患者さんの立場に立った医療を提供します。
- 2 公正な医療の提供と医療の質の向上に努めます。
- 3 腎泌尿器疾患と糖尿病の診断と治療に総合的に携わる病院として地域の皆様に信頼していただけるよう、日々全力を傾注します。
- 4 患者さんに安心して医療を受けていただけるような良質な医療環境医療体制を構築します。
- 5 地域社会の一員として、また社会的存在として行動し、その責任を果たします。

# 働きやすさと患者サービスの向上

—1号館1階・2号館1階—

# 増改築進む



### ■薬局

1階の中心部に位置し、各部署からの行き来がしやすくなりました。薬局の窓口が大きくなり、患者様との距離が近づいた感じがします。患者さまにもわかりやすい場所になりました。



### ■検査室

検査室は「検尿差出口」ですべての採尿室（障害者用、男性用、女性用）とつながっており、スムーズに診察前尿検査が実施されています。

### ■放射線室・内視鏡室

レントゲン室が明るくなりました。隣接して体外衝撃波結石破砕室もでき、また全身の骨量や体脂肪率をレントゲンで測定できる装置も移動しています。CT室の向かいには内視鏡室ができ、胃カメラや膀胱鏡などの検査が行われています。更衣室やコインロッカーも併設されました。



### ■内視鏡室

### ■結石破砕室

### ■レントゲン室

### ■骨密度測定室



### ■透析患者待合室

2階透析室を利用される患者様のための休憩室です。こちらには個人のロッカーのほか、テレビ・マッサージ機などが設置されており透析の前後での休憩や、患者様の家族の控え室としても利用されています。



### ■送迎

2階の透析室からエレベーターで降りてくると、1階西側入り口につながっており、車椅子の患者さまもスムーズに車の乗降ができるようになっています。介護タクシーを利用される方の移動が便利になりました。



### ■中庭

1号館と2号館をつなぐふたつの渡り廊下にはさまれた場所「緑のオアシス」



### ■相談室

患者さまとの話し合い、栄養指導等に使用しています。



### ■Café KHG

1号館1階に喫茶・売店「Café KHG」を開設しました。NPO法人「医療と福祉をつなぐ会」が運営し、売店にはお弁当やお菓子、介護用品を取り揃えています。喫茶コーナーでは、コーヒー・紅茶・ケーキ。夏はかき氷などを低価格で提供し、患者さまからも好評を得ています。

【営業時間】  
月～土 8:00～18:00



### ■受付正面

### ■クレジットカード

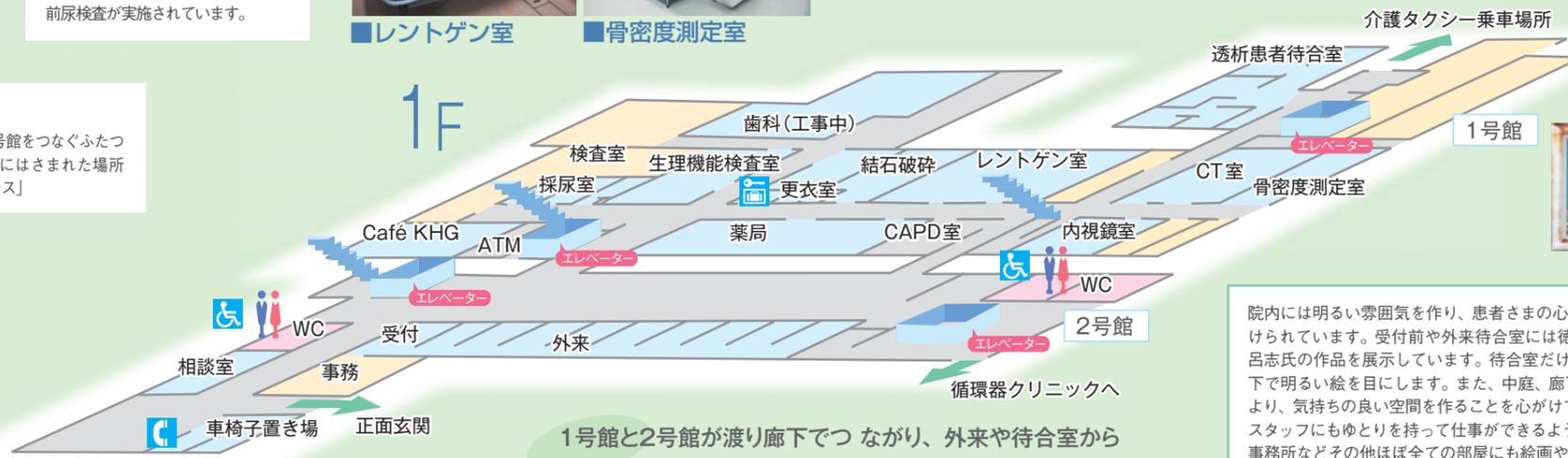
診察費がクレジットカードでのお支払いが可能になりました。

### ■ATM

カフェ KHG 向かいに四国銀行ATMを設置しました。  
【利用時間】月～金 8:45～18:00



### ■待合ロビー(外来)



1号館と2号館が渡り廊下でつながり、外来や待合室から薬局、検査室、レントゲン室等へのアクセスが容易になりました。

院内には明るい雰囲気を作り、患者さまの心を癒すため、たくさんの絵がかけられています。受付前や外来待合室には徳島県美術家協会会長の佐野比呂志氏の作品を展示しています。待合室だけではなく、各病室、透析室、廊下で明るい絵を目にします。また、中庭、廊下には植物を多く植えることにより、気持ちの良い空間を作ること心がけています。スタッフにもゆとりを持って仕事ができるようにと、病室以外に話所や医局、事務所などその他ほぼ全ての部屋にも絵画や植物を置いています。



### ■正面玄関



### profile

佐野 比呂志氏  
(社)日本美術家連盟会員  
独立美術協会所属  
徳島県美術家協会会長  
前(財)徳島県文化協会会長  
徳島県文化賞受賞  
大塚国際美術館評議員

# 安全性と居住性の向上

## — 1号館2階 — 「透析」 SAFETY!



### ■透析室 (1班・2班・4班)

充実の設備の中、安全で快適な透析をうけられるようスタッフ共々最善を尽くします。以前より、明るくゆったりとした室内に生まれ変わり患者様やスタッフからも好評です。写真奥がドクターコーナー。



### 信頼関係築く医療環境

2007年8月、川島病院の透析室増改築工事が無事に終了し、患者様に新しい透析室や休憩室などの施設を提供することができました。今回透析室の増改築は透析用患者監視装置の全自動化や感染予防の観点などからいくつかの基準に沿って行いました。

全自動患者監視装置というのは今まで看護師・臨床工学技士などが手で行ってきたプライミング(透析用血液回路の洗浄)・透析開始時の脱血・血圧低下時の補液・透析終了時の返血等をボタン操作1つで行える装置の事です。この装置を導入するにあたってはいくつかの基準が設けられており今回の増改築では建物の改装と同時に透析に必要な装置をすべて新しいものに変更しました。この全自動化に向けて一番重要なものは透析用水の品質管理に



る基準で、いままでに増して厳しいものとなり、増改築の際には機械を新しくするだけでなく透析液の通る配管などの整備も同時に行いました。それと同時に透析液の採水や測定、装置の洗浄等を定期的に行うことにより透析液の清浄化に努め、全自動透析用装置の水質基準(透析ライン全てにおいて人体に悪影響を及ぼす物質を排除する)を満たすことができ、増改築に伴い全自動化へと進むことが出来ました。

また透析室の照明・空調などは厚生労働科学研究費補助金医薬安全総合研究事業が定める「透析医療における標準的な透析装置と院内感染予防に関するマニュアル」をもとに整備しました。いくつか例を挙げてみますと、照明では透析患者様は数時間を透析室で過ごす為、昼夜問わず適正な照度を保つように設計され、透析中臥床でもまぶしくないよう間接照明を取り入れています。空調では24時間換気を行うと同時に患者様に直接風が当たらないシステム(エアースクックス)になっています。(文:臨床工学技師長 田尾知浩)



### ■エアースクックス

透析室では照明は間接照明になっており、また冷暖房は直接風が当たらないようにエアースクックスというシステムを完備しております。



### ■機械室

透析で使われる透析液をこの部屋で作成しています。また、透析用患者監視装置等の機器のメンテナンスもここでを行っています。



### ■薬品棚

透析室で使用する薬剤は上の写真のような棚で管理されています。この棚は地震が起こっても薬剤が散乱しないよう、棚の取っ手のレバーを引かないと扉が開かないような仕組みになっています。

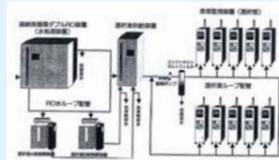


### ■電子カルテ

紙カルテから電子カルテに変わり、患者様の情報もパソコンひとつでわかります。パソコン操作にも慣れてきました。



理事長



### ■フロー図

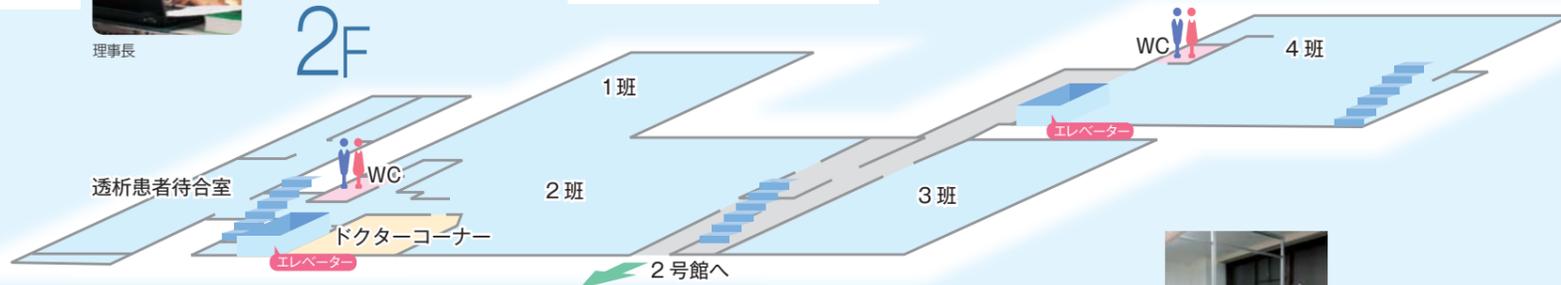
全自動プライミング装置導入のため増改築にあわせて配管もすべて新しくしました。また、川島病院透析室では今回より透析液のループ配管を採用し、透析液の水質を清浄化するため、様々な工夫をしています。

### ■透析用水検査

透析液の清浄化の指標となるエンドトキシンや生菌数の測定を臨床工学技士と臨床検査技師が協力して測定しています。



安全で過ごしやすい透析室を目指し、みんなのアイデアと知恵を出し合いました。



### ■4班横エレベーター

透析室のあるフロアには2台のエレベーターが設置されており、介護タクシー駐車場からの、車椅子による移動や入院患者様のストレッチャー等による搬送も容易に行えるようになっています。



### ■透析患者様待合室・休憩室

明るくゆったりとした休憩室で透析前後もくつろいでお過ごし下さい。マッサージ器やテレビも設置されていますので、付き添いの方がお待ちになることが出来ます。



### ■ドクターコーナー

患者様の問題点についてスタッフが意見を出し合い、その後の治療方針が決まります。(写真上) また週一回、透析室スタッフが集まり、患者様の転入・導入紹介や症例検討会を行っています。(写真右) より良い治療・看護が提供できるよう異なる職種間の情報交換の場となっています。



症例検討会



### ■入院患者用透析室(3班)

今回の増改築で新しくつくられた入院患者様専用の透析室です。病棟からの搬送が容易に行えるようにベッド間隔が広めに設計されています。また、パーティションで区切られたベッドもあります。

### 循環器透析室



2005年10月、川島循環器クリニックに、透析室が開設されました。

現在は、月水金・火木土それぞれ午前・午後の2回で計約130名の患者様が透析を受けておられます。また、当クリニックでは、心臓カテーテル検査・経皮的冠動脈形成術等を行っており、検査入院や短期の入院中、数回の透析を受けられる患者様も多くいらっしゃいます。短期の透析であっても、不安や疑問を持つ患者様に遠慮なく何でも相談していただけるアットホームな雰囲気透析室を心がけています。また、外来や病棟、お隣の川島病院との連携を密にした対応ができるよう、患者様との接点が一番多い看護師がバイブ役になりたいです。(文:川島循環器クリニック透析室看護師主任 森下成美)

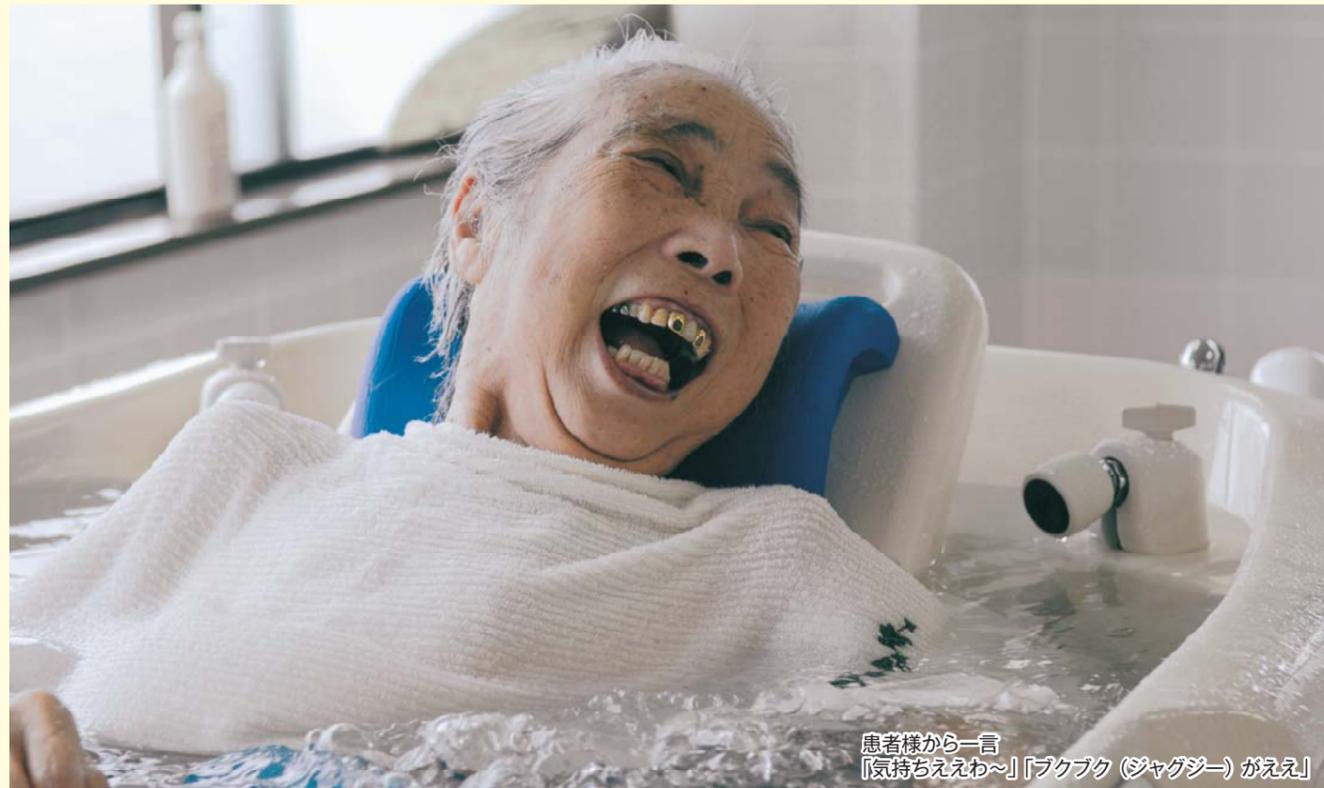
■CCU 心臓カテーテル検査後や、緊急を要する場合には5FのCCUでも血液透析を行うことができます。



循環器透析室に勤務しているスタッフです。(看護師、臨床工学技士、薬剤師、看護助手) みんな力を合わせてがんばっています。透析だけでなく、合併症である心疾患全般に対応出来る様動いています。身近に色々なことが相談でき、信頼されるスタッフをめざしています。

# 変わらない良さが残った新しい空間（病棟）

—1号館3階・4階・5階—  
KINDLY!



患者様から一言  
「気持ちええわ〜」「ブクブク（ジャグジー）がええ」



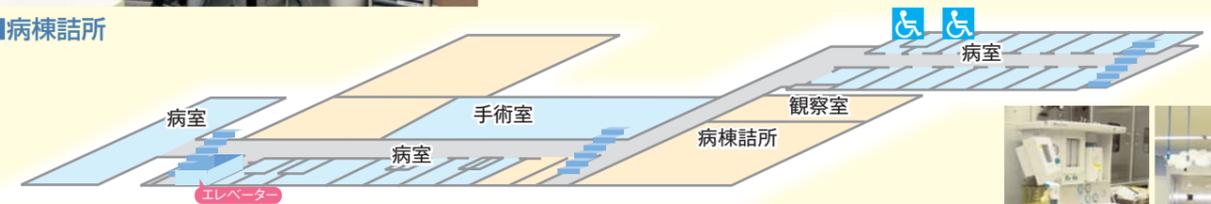
■病棟詰所



■観察室



■手術室

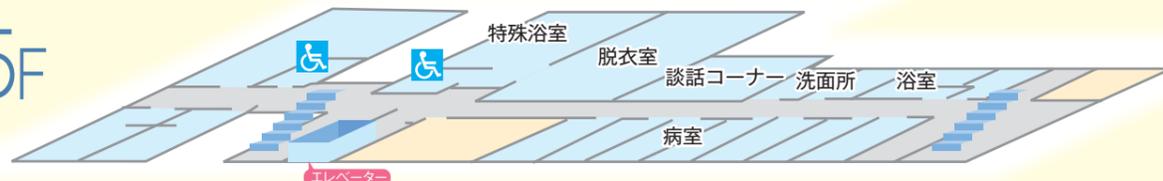


**3F** 3階は主に急性期の患者様を看護しているのが特徴。詰所と観察室とはガラスばりて隣りあわせになっており、詰所から患者様の状態を把握することが出来、迅速な対応が行える。また、緊急透析も可能。



■手術室

5F



特別浴室を完備した5階。個室と3人部屋を兼ね備え、ゆったりした環境で生活を送れる。



■浴室

太陽の光がたっぷり入りそそぐ明るく開放的な浴室。浴槽が上昇することで患者様に不安を与えない。



■5階の大部屋

日当たり、見晴らしが良くつついおしゃべりがはずみず。



■浴槽

(左奥) 座子に座るとリフトが上昇し、浴槽に入ることができる。  
(手前) 寝たまま移動でき、入浴可能。



■リハビリ室



■4階個室

色調に工夫された明るい個室。

## リハビリテーション科紹介

リハビリテーション【rehabilitation】とは、運動訓練のことであると誤解されやすいのですが、語源をひもとくと『re-』は「再び(接頭語)」、「-habilis-」ラテン語で「適する」の意、「-ation」は「〜こと(接尾辞)」つまり「再び適すること」という意味があります。

リハビリテーション科は、種々の疾患により障害を負った方々が「再び適する状態に戻る」ことに医学的な技術でお手伝いさせていただく科なのです。

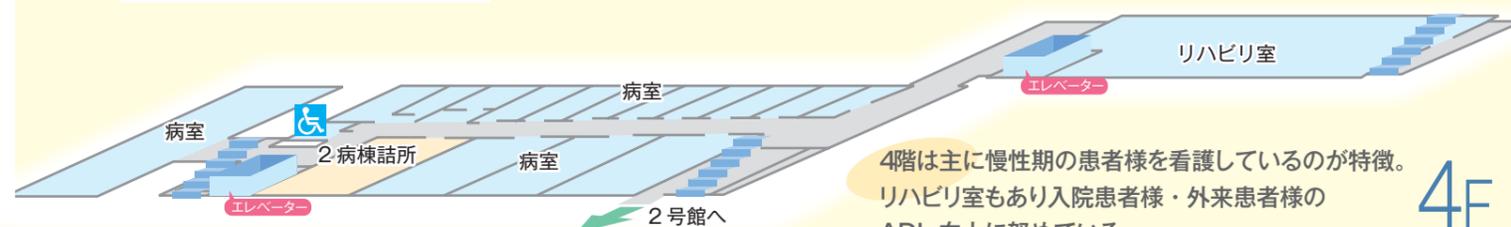
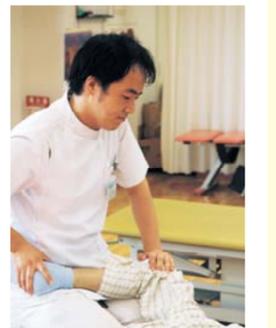
当院のリハビリテーション室は4階にあり、徳島市内を景観にしながら日々患者さんとリハビリに励んでいます。

当院リハビリテーション科の主な対象者は、脳血管障害等の中枢神経系疾患、整形外科疾患、内部疾患等により運動機能障害や日常生活動作能力の低下をきたした患者さんです。

当院のリハビリテーションとしては、身体機能・能力の改善だけでなく、生活習慣病の予防や、体力低下、QOLの低下を避け、透析、循環器合併症の改善をめざしています。

QOLの向上を図りながらも、リスク管理に配慮して長期間の効果も含めた科学的根拠に基づく医療の提供及び発展に協力して家庭復帰や社会復帰を目指しています。

(文)リハビリ室主任 大石



4階は主に慢性期の患者様を看護しているのが特徴。リハビリ室もあり入院患者様・外来患者様のADL向上に努めている。

4F



## 委員会報告

「当委員会は、医療機能評価を受審する方針が決定した2000年に設立されました。委員会は各部署の代表者で構成され、受審の準備はもちろんのこと、職員への受審意識付け、機能評価認知への広報活動等を行っています。」

### 「医療機能評価認定更新について」

機能評価準備委員会 副委員長  
山下敏浩



医療機能評価は財団法人日本医療機能評価機構\*1による「医療の質の向上・安全な医療の提供」を目的とした第三者評価です。現在、全国で2,370病院(5月28日現在)が認定を受けています。

川島病院では平成14年1月に県内の民間の一般病院では最初の認定を受けました。機能評価の認定期間は5年間となっており、当院の認定期限は平成19年1月20日となっています。従って、認定更新の為に、昨年の12月20日までに機構による訪問審査を受けなければなりません。また、この5年間に、評価体系は大きく改定され、現在の評価体系バージョン5.0(以下Ver.5.0)では、初回認定率が30%を切るという厳しい状況となっていました。

この受審準備を各部署の代表者16名からなる機能評価準備委員会が中心となり行っていきました。初回認定の年に評価体系の改定が決っていたので、その年から認定更新に向けた準備を行ってきました。まず、委員会では評価体系バージョン4.0(以下Ver.4.0)の分析と評価体系に対する当院での現状と課題を明確にできるよう検討を行いました。このVer.4.0の改定内容は、初回認定時のそれとはまったく別のもので、その検討には1年余りの期間を要しました。委員会で検討された内容は、各部署の代表の委員から各部署にフィードバックされ、その課題をいつまでにどの様に解決するかを委員会に報告し、委員会ではその進行状況の確認と解決方法の指導を行って

新評価体系 (Ver.5.0)	
第一領域	病院組織の運営と地域における役割
第二領域	患者の権利と安全確保の体制
第三領域	診療環境と患者サービス
第四領域	医療提供の組織と運営
第五領域	医療の質と安全のためのケアプロセス
第六領域	病院運営管理の合理性

表1

きました。しかし、平成18年受審病院にはVer.5.0が適応されることとなり、当院はVer.5.0での受審となりました。その上、新評価体系での認定率が年々下がってきているとの情報もあり、委員会では危機感を持つての準備となったわけです。Ver.5.0では表1の6領域について書類と訪問での審査となります。委員会では、評価体系の見直し、現状の把握、課題解決の進行状況把握、職員の受審意識向上、評価項目ごとの証明資料の準備と分類、書類審査の資料作成、訪問審査時の対応準備を行い、平成18年12月13、14日の訪問審査を迎えることとなりました。訪問審査は各専門領域のサーベイヤー(評価調査員)4名で2日間に亘って、書類確認、面接、部署訪問が行われます。その結果が、審査委員会に提出され、2月19日付で条件付認定となりました。そこでの指摘事項の改善を行い、書類による確認審査を経て、7月23日付で正式な認定を頂きました。その評価結果は機構のホームページ\*2に公開されています。

今回の審査は認定率が示します通り、非常に厳しいものでした。準備においては特に看護部、診療部には大変な負担がかかったと思います。また、5年間の認定期間の職員の意識を維持する難しさを痛感いたしました。ただ、このような苦勞を経て認定を受けた訳ですから、その評価結果を真摯に受け止め、更なる医療の質の向上に向け、病院全体で取り組んでいくことが、今後の課題であると思います。



\*1 財団法人医療機能評価機構 <http://jcqhc.or.jp/html/index.htm>  
\*2 医療機能評価結果 <http://www.report.jcqhc.or.jp/>



川島病院院長  
水口 潤  
Jun Minakuchi

# 地域医療に貢献できる病院を目指し

川島病院増改築に際し

現在の川島病院の原型は現在の1号館であり、1985年現地に移転したときに新設されたものです。当時としては外来・透析・入院患者数に対して十分な広さを持った病院でした。またRO装置や除水コントロール、血液濾過装置など最新の設備を備えた透析室、クリーンルームに近い空調設備を備えた手術室など設備面でも進んだ施設でした。その後、患者数増加のため透析・入院ベッドの増床・設備の拡大と共に、透析医療の進歩に対応するためエンドトキシソックフィルターの設定や、透析液ラインの変更など透析液供給システムの改良がたびたび行われました。しかし築20年を経過し、患者数の増加、高齢化、診療レベルの進歩に伴い全面的な増改築を要する状況となりました。増改築に際しては建築士を中心に、総務ならびに関係各部署による委員会を立ち上げ検討を重ねました。その結果、増改築を次のような方針で進めることとなりました。

1. 外来部門では、患者さんの増加、診療レベルの向上に対応できる診察室・待合室、薬剤部門、臨床検査部門、放射線検査部門の拡張と設備の充実を行う。

2. 透析部門では安全性ならびに治療環境向上のためベッド間隔を広くする。また感染対策の徹底のため感染症者専用の透

析室や、外来患者さんの治療環境の向上のため重症者専用の透析室を設ける。一方、業務の標準化、効率向上のため1治療単位を30床程度に均一化するとともに、今後の透析患者数の増加をふまえ、同時透析150床程度とする。血液透析の質の向上のためには透析液清浄化は必須であり、RO水からの無エンドトキシソック化を達成する。それにより、プライミングと返血を全自動で行う全自動開始回収透析装置や、血液透析と同じ操作で血液透析濾過が行え、分子量の大きな尿毒素除去量の確保に大きく貢献する、内部濾過促進型ダイアライザーの使用を可能とする。

3. 病棟部門においては治療環境の向上のため個室の割合を多くする。さらに患者さんの高齢化、重症化に対応するため、観察・介護だけでなく病室透析や人工呼吸器使用にも適した広さをもった部屋とする。

4. 中材・手術部門においては、感染対策のため清潔区域と不潔区域を明確に区別し、近年の手術機器の増加に対応するため従来より広くする。また移植手術に対応するため空調をバイオクリーンとする。増改築の完了により、腎・泌尿器科疾患、糖尿病を中心として、さらに地域医療に貢献できるものと考えています。

# 禁煙の取り組み

2007年4月より喫煙しない職員に対し  
毎月禁煙手当が支給されることになりました。

## 禁煙について



看護師主任 萩原順子

以前の我が家は夫婦2人とも愛煙家でした。でも、今では立派に禁煙に成功し「安全」で「安心」な家庭生活を送っています。禁煙へのきっかけは出産と育児でした。1人目の妊娠、出産後は禁煙できていましたが育児休暇明けで職場に復帰したところまた愛煙家に逆戻りしてしまいました。これは自分自身の禁煙に対する意識が低かったため喫煙者のいる環境に馴染んでしまい禁煙を維持できなかったからだと思います。2人目の時も同様でしたが、この頃から「女性看護師の喫煙者の割合は一般女性よりも多い割合である」ということが問題提起されるようになり、また川島会でも禁煙に対する意識が高まっていたことから、夫が禁煙を始めました。夫の完全禁煙への道のりはあまり困難には見えませんが、それならやってみよう、今度は私も子供のために禁煙に挑戦することにしました。禁煙開始早々はやはり他の職員の喫煙が気になり、患者

様のタバコ臭にも敏感でした。けれどそれも次第に気にならなくなり、気づけば意外と簡単に禁煙に成功していました。

禁煙できてよかったことは小さな子供の前の喫煙行動がなくなり、副流煙の影響を気にしなくてもよくなったことです。また、タバコがなくなることへの恐怖心が消え、経済的にも多少ですが負担減となりました。火事の心配もなく、タバコ臭も家の中からなくなりました。禁煙すると食事がよりおいしくなり、太ってしまっているのではないかと思いましたが、体重の増加はありませんでした。

愛煙家の方々には是非禁煙をお勧めします。喫煙場所を探す手間もないし、家族の健康のためにもなります。何よりも自分自身の健康を気遣い、長生きをしませんか？意識を少しだけ変えれば誰でも禁煙出来ると信じています。

## 医療人は率先して禁煙を

兼島主任 志内敏郎

平成16年の職員検診で「左肺異常造影」と診断され、CT検査を実施しました。この指摘を受けた為、本気でタバコをやめることを決意しました。この時のCT検査では、後に、放射線医師から「問題ありません。」とのコメントを頂き、

## 計画的に禁煙



臨床工技士 中川直樹

——どのように禁煙に取り組んだのですか  
私は禁煙を決心して2週間後からスタートしました。事前に開始する日を設定してスムーズに禁煙が始められるように準備をしました。2週間の間に、どうしても我慢できない時の為に禁煙ガムを用意したり、1日限定でおたけし禁煙を試してみました。この時、1日だけでしたが「意外と禁煙できるかも」と自信が持てたのが良かったように思います。

禁煙で大変なのは最初だけでしばらくすると意識しなくなりました。私は喫煙歴が短いた

これまでの取り組み	
平成12年	環境美化委員会の活動として分煙、職員、患者様にアンケートを行う。
平成14年	全館禁煙に向けての取り組みが始まる。
平成15年5月	公共機関等、全面禁煙となる医療機能評価においても全面禁煙が認定条件となる(これを機に、一気に禁煙への機運が高まる)
平成18年4月1日～	KHグループ敷地内(一部のぞく)の全面禁煙となる
平成19年4月～	禁煙手当の支給がはじまる(たばこを吸わない職員の申請で)

## 不惑の決意



看護師 田上尚基

——禁煙してよかったことは？

タバコを吸わなくなると良かったと思うことは、タバコ臭がしなくなったということでしょうか。特に髪の毛は前日のシャンプーの香りが夜まで残ります。僕ももうすぐ44歳。加齢臭と戦わざるを得ない年齢になってきました。年齢に抗うことは出来ませんが、タバコ臭くないだけマシかもしれません。

——いつ頃から禁煙をはじめたのですか？

禁煙をはじめたのは26歳ごろ。今から17年前です。(吸い始めたのは、もっと若い頃…)38歳頃は飲酒したときなどに人からもらって数本吸うことはありましたが、今はまったく吸いません。

——肌の調子はどうですか？

肌の調子ははつきりってわかりません。あま

ほっとしましたが、今年度の職員検診で「左肺結節の疑い」と診断されました。私は現在36歳ですが、この年齢で肺がんの可能性も頭をよぎりました。以前のCT検査データから、今年も「問題ありません。」とのコメントを頂きましたが、タバコをやめて数年が経った今でも検診にひっかかることに不安があります。

私がタバコを吸い始めたのは、大学3年生の頃です。当時は、キャンパス内で大勢の人が普通にタバコを吸っており、私も友人の影響を受けて吸うようになりました。けれども、その大学の友達も、昨年の同窓会で集まった時には、全員がタバコをやめていました。

私の禁煙方法は、ただ我慢することだったので、はじめの1週間程はとても辛く感じましたが、現在では自分をコントロールできるようなっています。また、妻が大のタバコ嫌いで、幼い子供もいることから、完全に禁煙する前から、自然に本数が抑えられていたことも、禁煙に成功した理由の一つではないかと思っています。

今後、病院でも機能評価などでいわれるように敷地内禁煙や公的施設での禁煙・分煙がさらに進んでいくと思われれます。また、タバコの害は広く知られている為、我々医療人は、その立場から率先してタバコをやめていくべきではないかと思っています。

りにしないから。

## 病気を機に禁煙

看護部長 大下千鶴

若い頃？かっこいいかな、なんて何となく吸い始めたタバコ。特においしいと思うことなく癖になり、だんだん食後の二服、お酒の時の一服がおいしいと思うようになりました。その頃には職業柄もあり身体に悪いと分かりながら、「そんなに本数が多くないから大丈夫。」と自分に言い聞かせ甘やかしていました。そんな私が禁煙を余儀なくされたのは、病気のためです。

一般にはストレスが原因と言われているメニエール氏病になり、めまい、嘔気嘔吐、聴力低下等の症状が表れました。そしてその症状に悩まされ日常生活が送れなくなりました。めまいが出現しているときは歩くことも出来ずトイレまで這って移動するような状態でした。先生からはタバコはダメ、お酒はほとんどなら問題ないと言われ、タバコを取るか、日常生活を取るかで当たり前のごとくタバコは捨てました。結局それだけでは病気は回復しませんでした。結局それだけ禁煙できる大きなきっかけになり、今では良かったと思っています。

最近、喫煙者が肩身の狭い思いをする世間にかわりつつあります。病気が原因で禁煙に至った私には大きなこととは言えませんが、何かをきっかけに禁煙できれば人生すこし、得をするかもしれません。

血管を大事に元気な人生を過ごしたいと考えるようになりました。始めませんか禁煙…

# 平成19年度事業計画

理念の実現に向けて下記の項目を着実に実行する。

- 1 改築完了後の運営計画立案と遂行**
  - ① 各部門の再編
  - ② 収益の確保
- 2 電子カルテシステムの完成、安定運用**
  - ① 電子カルテシステム導入に向けての調整
  - ② 電子カルテシステム導入後の円滑な運用
  - ③ 個人情報保護法令などを視野に入れた適切な情報管理
- 3 レセプト電算処理システムの導入**
  - ① 診療報酬請求にかかっていた手作業の軽減
  - ② 4施設全てに導入、円滑な運用
- 4 外来血液透析患者の通院に対する支援**
  - ① 外来血液透析患者の通院実態調査の実施
  - ② 介護タクシー事業の拡大
- 5 災害対策活動、医療事故防止活動の積極的推進**
  - ① 大規模震災を想定しての定期的対応訓練の実行と災害に備えての準備の実施
  - ② 各種手順やマニュアルの周知徹底、実行の推進
  - ③ 対策月間設定等による全職員に対する啓発、教育の強化と充実
- 6 教育・研究活動の強化と支援**
  - ① 新入職員、中堅職員、途中入職職員への教育内容の充実
  - ② KHGと関連のある分野の全国規模の学会、研究会への積極的参加の奨励と支援
  - ③ KHGと関連のある分野の研修会、講演会、セミナーへの参加の奨励
  - ④ 院内学習会の定期的実施と部署ごとの勉強会、抄読会の頻回実施
  - ⑤ 部署目標、委員会目標の中間及び年度末フォローによる達成度評価と改善のための指導の実施
  - ⑥ 部署、委員会における研究および活動テーマ発表会の実施
  - ⑦ 業務上有用な資格の積極的取得の推進と支援の実施
- 7 地域社会との交流や関連施設との連携の強化**
  - ① 第10回健康福祉フェスタの実施と内容の層の充実
  - ② 広報誌の継続発行と内容の層の充実
  - ③ ホームページの内容充実とタイムリーな更新
  - ④ 関連病院間や病診連携会議への積極的な参加
- 8 働き甲斐のある職場環境の確保**
  - ① チーム医療の推進
  - ② 業務上の成果、努力の人事考課への正当な反映
  - ③ 職員の職場労働安全衛生対策の推進
  - ④ 職員に対する福利厚生充実



2007年9月現在

## スキルアップ

### レポート

複雑化、多様化する医療に対応するため、職員のスキルアップを常にめざしています。

## 平成19年度 実務実習指導薬剤師 養成講習会に参加して

文●川島病院薬局 志内敏郎

薬学教育は、平成18年度4月、教育年限が4年から6年に変更されました。6年制の薬学教育で、臨床に係る実践的能力を培うためには、実務実習の効果的な実行が不可欠であるため、病院及び薬局においてそれぞれ10週間程度の実務実習を受けることが義務づけられました。一方、実習を受け入れる側の病院及び薬局の薬剤師は、ワークショップ形式の研修会及び講習会形式の研修会（以下に示す）に参加し、認定実務実習指導薬剤師の資格認定をとることが義務づけられました。当院では、私が認定実務実習指導薬剤師の資格認定をとるために研修会に参加しています。

- ・ ワークショップ形式（連続した2日間）
- ・ 講習会形式（3日程度）
- ・ ア、学生指導について（2時間程度）
- ・ イ、薬剤師に必要な理念について（2時間程度）

ウ、実務実習モデル、コアカリキュラムについて（4時間程度）  
 エ、最新の業務について（4時間程度）  
 オ、参加型実務実習の実施方法について（1時間程度）

主催（財）日本薬剤師研修センター  
 共催（社）日本薬剤師会・社団法人日本病院薬剤師会

私は、昨年の6月に、徳島大学で開催されたイトウの講習会に出席しました。その時、薬剤師倫理規定が改訂されたことが非常に印象に残っています。以前の昭和48年の規定は当然知っていましたが、平成9年に改訂されたことは知らず、自分の勉強不足を情けなく感じました。今回の講習会では、アとオを受講しました。オの参加型実務実習で、薬学生に許される行為の範囲についての講義を聞き、とても興味を持ちました。内容は、各大学で薬学共用試験を実施し、この試験を合格したものが薬剤師と同様に病院や薬局で実務実習をすることができるとのことでした。しかし、それには条件があり、麻薬や毒薬などは調剤ができず、調剤時の疑義照会なども認定実務実習指導薬剤師の管理のもとでなくてはならないとのことでした。この内容は、今後も議論され変更や改訂がなされていくと思われまます。

個人的な話ですが、私の母校の北里大学薬学部（東京都港区白金）が研修会場であったため学生時代を過ごした大学がそのままなのか、だいぶ変化したのか少し楽しみでした。私は平成5年卒業なので、約14年の月日がたち、学生時代に過ごした場所は、一つの建物を除き全て建て替えられていました。私が学生時代に研究した北里研究所もなく、また、北里研究所病院は見違えるほどきれいな建物に変貌していました。少し寂しさが残り、また、北里大学が発展していつているのだなと思いました。今後残りの工とワークショップを受講して認定実務実習指導薬剤師となり、薬学教育への協力と薬剤師を目指している学生達の役に立ちたいと思います。

当院では、毎年、薬学部の実習生を4〜5名程度受け入れています。徳島大学と徳島文理大学の薬学生を受け入れることが圧倒的に多く、4回生の薬学部の学生が実習にきています。4年制の薬学部では、実習期間は3〜4週間と短く実習が終了する時期によりやく薬剤師の業務の流れが少し把握できる程度にしかありません。しかし、6年制となった薬学部では、実習期間も10週間と大幅に増えたため、より詳しく臨床薬剤師の業務が理解できると思っています。



# 2006 Photo Gallery

写真で見る川島ホスピタルグループ行事 ● 2006



新入職員のオリエンテーションの様子です。



新入職員は様々な職種の職員から指導を受けます。



歓送迎会での新入職員の自己紹介の様子です。



今年度の慰安旅行の海外組は台湾へ行ってきました。



慰安旅行の国内組は一泊二日で下呂温泉です。



選ばれた職員数名がハワイ研修に行ってきました。



毎年恒例の地引網です。魚がたくさんとれましたよ。



地引網で食べるおにぎりは職員が朝から一個一個手作りで。



職員とその家族で毎年大賑わいです。



定期的で開催される糖尿病教室の様子です。



糖尿病教室では患者さんへいろいろとアドバイスします。



医師だけでなく、看護師・栄養師などからのアドバイスもあります。



この時は運動療法として全員で体操を行いました。



今年度新入職員の入社6ヶ月目後の研修です。



病院の良い所・悪い所などを紙に書き出し、発表しました。



KHG三人娘が抹茶を振舞いました。この他にも様々な店がありました。



川島理事長の餅つき姿も毎年恒例となりました。



「健康・福祉フェスタ」の様子です。様々な催しが繰り広げられます。



忘年会では職員がいろいろなパフォーマンスを披露し、盛り上がりました。



KHGと縁のある各方面の方々で交流をはかるべく、新年会が開かれました。



KHGでは様々な勉強会が開かれています。この時は接遇の勉強会でした。



親睦会主催の映画鑑賞会の様子です。今回は「バルトの楽園」でした。



患者様と一緒に大規模震災にそなえた避難訓練を行いました。

## 2006年度主な行事

- 新入職員オリエンテーション
- 歓送迎会
- 慰安旅行
- 地引網
- 2006.10 新入職員6ヶ月研修
- 健康・福祉フェスタ
- 忘年会
- 新年会
- 映画鑑賞会
- 災害訓練

- 赤澤正義／放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 谷 恵理奈／第一種放射線取扱主任者
- 浜田久代／日本糖尿病療養指導士
- 坂井敦子／日本糖尿病療養指導士
- 原 恵子／日本糖尿病療養指導士
- 森 恭子／日本糖尿病療養指導士
- 仲尾和恵／日本糖尿病療養指導士
- 高瀬美樹／介護支援専門者(ケアマネージャー)
- 三宅直美／介護支援専門者(ケアマネージャー)
- 原 雅子／診療情報管理士
- 山形篤史／診療情報管理士
- 矢部智子／診療情報管理士
- 辰巳奈月／診療情報管理士
- 志内敏郎／第一種衛生管理者
- 松永千鶴／第一種衛生管理者
- 山川景子／第一種衛生管理者
- 空野一葉／第一種衛生管理者

#### ■ 医師・職員院外団体等役職

- 川島 周／徳島県医師会会長、全日本病院協会常任理事、徳島県腎臓バンク常任理事、徳島大学医学部臨床教授
- 島 健二／徳島大学名誉教授、日本糖尿病学会名誉会員、日本臨床化学会名誉会員、日本病態栄養学会評議員、徳島県医師会糖尿病対策班班長、徳島県保険者協議会顧問
- 水口 潤／徳島大学医学部臨床教授、日本移植学会評議員、日本透析医学会理事・評議員、日本腹膜透析研究会副理事長、四国透析療法研究会副会長、徳島透析療法研究会会長、日本HDF研究会常任幹事、日本アクセス研究会幹事、VAIT研究会幹事、在宅血液透析研究会幹事、ハイパフォーマンスメンブレン研究会世話人
- 西内 健／徳島大学医学部非常勤講師、日本心血管インターベンション学会評議員、徳島市医師会心電図判読委員会委員、日本循環器学会四国支部評議員
- 水口 隆／腎とエリスロポエチン研究会評議員幹事
- 林 郁郎／日本循環器学会四国地方評議員
- 炭谷晴雄／日本泌尿器科学会評議員、西日本泌尿器科学会評議員
- 土田健司／日本透析医学会評議員、日本HDF研究会常任幹事、日本アクセス研究会幹事、日本腹膜透析研究会評議員、日本エンドトキシン研究会世話人、VAIVT研究会幹事、日本医工学会評議員、大阪市立大学・大学院医学研究科非常勤講師、徳島透析療法研究会世話人
- 浜田久代／徳島県栄養士会病院栄養士協議会役員
- 久米恵司／徳島県放射線技師会理事、徳島核医学勉強会世話人会役員、日本放射線技師会徳島支部理事、日本核医学技術会中四国部会理事

#### ■ 職員数 注：( )内は2006年4月1日現在

- (医)川島会、(医)川島クリニック 常勤職員総数267名(263)
- 常勤医師17名(16) ● 非常勤医師47名(47) ● 看護師120名(119) ● 看護助手33名(31) ● 薬剤師10名(9)
  - 管理栄養士5名(5) ● 臨床検査技師5名(5) ● 放射線技師4名(4) ● 臨床工学技士25名(26)
  - 理学療法士2名(3) ● 医事20名(14名) ● 総務12名(11) ● 庶務14名(14)

#### 川島病院のプロフィール (2007年7月1日現在)

- 標榜科目／内科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科
- 指 定／生活保護法、原子爆弾被爆者指定、労災保険指定、自立支援医療機関(更生医療指定)
- 届出事項／一般病棟入院基本料 一般10対1 栄養管理実施加算
- その他届出事項／体外衝撃波腎尿管結石破碎術、体外衝撃波胆石破碎術、人工臓腑、薬剤管理指導、在宅時医学管理、院内感染防止策、手術前医学管理料、療養環境加算66床、無菌製剤処理加算、単純CT撮影、エタノール局所注入(甲状腺・副甲状腺)、運動器リハビリテーション料I、脳血管疾患等リハビリテーション料II、電子化加算、医療安全対策加算、褥瘡患者管理加算、画像診断管理加算2
- 施設認定／(財)日本医療機能評価機構 認定第GA155-2号 審査体制区分1(Ver.5) 日本泌尿器科学会専門医教育施設、日本透析医学会認定施設、日本腎臓学会研修施設、日本糖尿病学会教育施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修関連施設(川島循環器クリニック)

#### ■ 医師・職員取得資格

- 川島 周／日本内科学会認定医、日本透析医学会認定医
- 島 健二／日本内科学会専門医、日本糖尿病学会指導医、日本老年医学会指導医
- 水口 潤／日本内科学会認定医、日本腎臓学会認定指導医・専門医、日本透析医学会指導医・認定専門医
- 西内 健／日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医
- 水口 隆／日本内科学会認定医・認定内科専門医、日本血液学会専門医、日本医師会認定産業医、介護支援専門者(ケアマネージャー)
- 林 郁郎／日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医、日本神経学会専門医、日本医師会認定産業医
- 炭谷晴雄／日本泌尿器科学会指導医、日本泌尿器科学会専門医
- 木村建彦／日本内科学会認定医、日本循環器学会専門医
- 土田健司／日本透析医学会指導医・専門医、日本泌尿器学会指導医・専門医、日本アフエレーシス学会認定医、介護支援専門医(ケアマネージャー)
- 深田義夫／日本循環器学会専門医、日本外科学会指導医、日本心臓血管外科学会専門医
- 小松まち子／日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会専門医、日本人間ドック学会認定医、日本医師会認定産業医、日本医師会認定健康スポーツ医
- 日下 まき／日本放射線学会専門医
- 中村雅将／日本内科学会認定医、日本透析医学会専門医、日本腎臓病学会専門医
- 吉川和寛／日本内科学会認定医
- 片山幸代／病院管理士
- 山下敏浩／病院管理士
- 久米恵司／放射線管理士、日本放射線技師会アドバンスド放射線技師
- 猪籠浩司／日本放射線技師会アドバンスド放射線技師

「私の回想録」AID、10:16-19、2006

■ 島 健二  
対談:「徳島県の糖尿病対策」Japan Medicine、1041:6-7、2006

■ 島 健二  
巻頭言:「新参者の新鮮な驚き」さかえ、46:3、2006

■ 島 健二  
「インスリン抵抗性のモデル動物」インスリン抵抗性 藤田敏郎・門脇孝編、医学書院:236-242、2006

■ 島 健二  
「徳島県医師会の糖尿病征圧戦略」四国医誌、62:206~210、2006

■ 水口 潤  
「血液浄化の方向性-溶質除去面より」奈良県医師会透析部会誌11、:5-14、2006

■ 水口 潤  
「臨床からみたHDFに適したモジュールとは」HDF療法05、:5-6、2006

■ 水口 潤  
「持続的血液浄化法と間歇的血液浄化法の相違」急性血液浄化法 徹底ガイド、:5-6、2006

■ 水口 潤  
「腹膜透析の普及に向けて」臨床透析22、:5-6、2006

■ 水口 潤  
「その他の悪性腫瘍」腎と透析60、:841-844、2006

■ 水口 潤  
「腎移植における内科医の役割」今日の移植19、:334、2006

■ 香川和夫、水口 潤  
「透析室の感染対策」Cycles サークルズVol.8、2:19-21、2006

■ 中村雅将、水口 潤  
「アクセスと適正透析」腎と透析61、5:657-662、2006

■ 森 恭子、坂井敦子、原 恵子、浜田久代  
「維持透析患者の便通異常対策 栄養士の立場から」臨床透析Vol.22、8:37-41、2006

■ Keiko Chujo、Kenji Shima、Hiroaki Tada、Teruyo Oohashi、Jun Minakuchi、and Syu Kawashima  
「Indicators for blood glucose control in diabetics with endstage chronic renal disease :GHb vs.glycated albumin(GA)」THE JOURNAL OF MEDICAL INVESTIGATION VOL53 (No3,4)、:223~228、AUGUST 2006

◎学会・研究会等発表(2006年1~12月)

■ 第48回日本泌尿器科学会四国地方会(高知)／1月28日  
加藤琢磨…腹膜炎・腹部外科手術の既往を有する患者に対するCAPDカテーテル挿入術の臨床的検討(口演)  
●炭谷晴雄、水口 潤

■ 第33回徳島心血管造影研究会(徳島)／3月7日  
木村建彦…炭酸ガス造影によるシャントPTAの経験(口演)●八木秀介、池田康将、西内 健、水口 潤

■ 第70回記念日本循環器学会総会・学術集会(名古屋)／3月26日  
池田康将…Glucose intolerance and hyperinsulinemia are overt during clinical course in patients with acute coronary syndrome(ポスター)●八木秀介、木村建彦、西内 健

坂東美絵…維持透析患者に対する冠動脈造影検査後の新しい腰痛緩和対策(口演)  
●芝原涼、松田幸子、三好友美、披田英理、萩原順子、藤井眞理、木村建彦、西内 健

萩原雄一…CypherStent留置後の血液透析について(口演)●清水一郎、田尾知浩、坂東美絵、萩原順子、藤井眞理、木村建彦、西内 健

(社)飛鳥 職員総数42名(41)

- 施設長1名(1) ●管理者3名(3) ●ケアマネージャー4名(4) ●ソーシャルワーカー1名(1) ●訪問介護員16名(16)
- 看護師2名(2) ●介護職員8名(10) ●生活相談員2名(3) ●管理栄養士1名(1) ●事務員1名(0) ●宿直員3名(0)

◎診療統計等(2005年12月~2006年11月) 注:( )内は前年同期

■外来患者延数／36,075名(34,199)

■入院患者延数／26,440名(27,307)

■新入院患者数／川島病院 776名(772)、川島循環器クリニック 545名(512)…合計 1,321名(1,284)

■血液透析患者数／川島病院 380名(368)、川島循環器クリニック 139名(139)、鴨島川島クリニック 150名(147)  
 鳴門川島クリニック 104名(95)…合計 773名(749)(12月19日現在) 新規導入数 58名(71)、  
 延べ回数／川島病院 57,845回(75,317)、川島循環器クリニック 22,333回(3,002)  
 鴨島川島クリニック 22,642回(21,943)、鳴門川島クリニック 15,615回(13,533)  
 …合計 118,435回(113,795)

■腹膜透析(CAPD)患者数／64名(50)<sup>(12月19日現在)</sup>、新規導入数 13名(20)

■腎移植患者数／29名(26)<sup>(2006年12月累計/うち1例は2006年9月)</sup>

■主要検査件数／消化器内視鏡 727件(730)、CT 2,696件(2,498)、シャントアンギオ 119件(160)、腎生検 16件(15)  
 心カテ 174件(182)、RI 711件、うち紹介365(713うち紹介399)、心エコー 1,683件(1,591)、その他のエコー 631件(613)

■手術・処置件数／手術総数 444件(423)、結石破碎 延べ141件(129)、シャント PTA 83件(80)、PTCA 148件(136)  
 ペースメーカー植え込み 13件(12)

■栄養指導件数／4,459件(6,238)

■糖尿病教室

- 平成17年12月9日 テーマ「減塩のコツを知ろう」参加者20名
- 平成18年3月17日 テーマ「健康食品」参加者24名
- 平成18年7月21日 テーマ「野菜のようで野菜でない?」参加者25名
- 平成18年11月24日 テーマ「運動とカロリー」参加者22名

■高血圧教室

- 平成18年8月25日 テーマ「メタボリック症候群とは」参加者12名

■リハビリ件数／個別 11,613件(11,870)、消炎 821件(268)…合計 12,434件(12,138)

■訪問看護件数／延べ 97件(697)、ケアハウスあすか入居数 延べ587件(583)、デイサービス利用者数 延べ5,638件(7,062)  
 ヘルパーステーション利用者数 延べ9,634件(12,103)、支援センター居宅サービス計画件数 延べ2,755件(3,221)

平成18年度 業績集 — 2006

◎論文・総説等(2006年1~12月)

■ 島 健二、川原和彦、小松まち子、川島 周  
「“腎性低血糖”とも称せられるべき自発性低血症の5症例」糖尿病、46:423-427、2006

■ 島 健二、川原和彦、小松まち子、川島 周  
「I型糖尿病透析患者における血糖変動-腎の血糖調節にはたす役割-」糖尿病、46:709-715、2006

■ 島 健二  
「治療目標とコントロール指標」最新糖尿病学-基礎と臨床-垂井誠一郎・門脇孝編、朝倉書店、:348-356、2006

■ 島 健二  
「糖尿病の原因とその怖さ」いのち輝く 52:4-5、2006

■ 島 健二  
「生活習慣病予防対策の現場から」Medical Tribune、39(37):22、2006

■ 島 健二

多田浩章…透析糖尿病患者における血糖コントロール指標の評価～随時血糖値とHbA1c、GAの関係～(口演)

●島 健二、中條恵子、根本和美、大橋照代、鈴江信行、水口 潤、川島 周

■第37回徳島透析療法研究会(徳島)／11月26日

鈴江初美…血液透析導入となったミトコンドリア脳症患者への支援(口演)●奥谷晴美、高橋道子、祖地香織、高橋淳子、東 千鶴、坂井敦子、水口 隆、島 健二、香川和夫

高橋淳子…JMS透析用コンソールGC-110N導入による貧血の推移(口演)●奥谷晴美、高橋道子、祖地香織、東 千鶴、鈴江初美、新納誠司、香川和夫、水口 潤、水口 隆

楢山祐子…全自動コンソールアンケートを実施して(口演)●宮本美鈴、吉田和代、近藤 郁、重長佐和子、鈴木智恵、榎本三智代、生田登美、三宅直美、播 一夫、水口 隆

日根千鶴…外来血液透析中の糖尿病患者の踵部角化に対するODTの効果(口演)●菊川幸子、薬師神富美、島 健二  
道脇宏行…透析液清浄化に対する当院の取り組み(口演)●細谷陽子、磯田正紀、山田裕深、田尾知浩、川島 周

■第89回日本循環器学会四国地方会(高松)／12月2日

八木秀介…留置9年後にステント内急性閉塞を来したhinge movement認められた1例(口演)●木村建彦、西内 健

■第18回日本糖尿病性腎症研究会(東京)／12月10日

島 健二…糖尿管理基準設定における“腎性低血糖の問題”(口演)

## ◎講演、講義等(2006年1～12月)

■島 健二

「糖尿病は万病のもと」医師会主催:四電工社員研修会(徳島市)1／19

「糖尿病治療の現状と管理栄養士の役割」H17年度地域活動実践栄養士研修会(徳島市)1／26

「糖尿病予防につながる健康づくり」糖尿病予防教室(北島町)2／13

「徳島県糖尿病対策班の取り組み」H17年度糖尿病対策検討会議(三好市)2／23

「糖尿病は万病のもと」糖尿病フォーラム(美馬市)3／24

「最新の糖尿病のすべて」藍住医師会研修会(藍住町)4／17

「食事・運動療養は糖尿病治療の基本」第28回鳥取県東部糖尿病談話会(鳥取市)4／20

「腎不全患者における糖尿病治療」高知県医師会研修会(高知市)4／27

「健やかに老いる」医師と歩こう2006・第13回徳島大会(徳島市)4／29

「最新の糖尿病のすべて:糖尿病とは(病態、診断、検査、合併症、治療)」徳島県医師会生涯教育シリーズ(徳島市)5／9

「糖尿病は万病のもと」徳島県商工会・第45回通常総会(徳島市)5／26

「運動と健康、ホノルルマラソンを走ろう2006」徳島大学開放実践センター(徳島市)6／17

「労働者の健康の確保-糖尿病予防のために」徳島産業安全衛生大会(徳島市)7／6

「運動と健康、ホノルルマラソンを走ろう2006」徳島大学開放実践センター(徳島市)7／8

「糖尿病について」健康保険組合連合会徳島連合会研修会(徳島市)7／11

「糖尿病の予防」四国電力健康研修会(徳島市)7／13

「メタボリックシンドローム」看護協会勉強会(徳島市)7／15

「糖尿病とは」名西郡町民健康講座(名西郡)7／23

「退職後の健康管理-健やかに老いるために-」徳島雇用支援協会(徳島市)7／24

「糖尿病は万病のもと」つるぎ町健康づくり講座(つるぎ町)7／25

「糖尿病の予防について」三好郡学校保健連合会総会(三好市)7／27

「透析糖尿病患者の特殊性」関西腎と薬剤研究会(大阪市)7／31

「徳島県における糖尿病予防と医療保険者による健診義務化への期待」(徳島市)8／1

「糖尿病が及ぼすさまざまな病気-生活習慣病のメカニズム」徳島県ヘルスコordinator養成講座(徳島市)9／9

「みんなで防ごう糖尿病」徳島県は4人に一人が危険です」健康を考える県民のつどい(徳島市)9／13

「糖尿病は万病のもと」H18年度家族介護教室(徳島市)9／14

「内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)について」藍住町健康づくり教室～国保ヘルスアップ事業～(藍住町)10／3

■第49回日本糖尿病学会(東京)／5月25日

島 健二…腎の血糖調節に果たす役割“腎性低血糖”の病態(口演)●小松まち子、川原和彦、川島 周

■第88回日本循環器学会中国・四国地方会(岡山)／6月3日

八木秀介…当院慢性透析患者におけるCypher stent治療成績(口演)●池田康将、木村建彦、西内 健

■第51回日本透析医学会学術集会総会(横浜)／6月23日～25日

島 健二…糖尿病透析患者の血糖管理基準-腎性低血糖を考慮して-(口演)●川原和彦

小松まち子…血液透析中の血糖値変動に関する研究(ポスター)●日下まき、久米恵司、南 幸、水口 潤、川島 周、島 健二

志内敏郎…血液透析患者における静注用鉄剤の投与方法の検討(口演)●山川景子、北條千春、水口 隆、水口 潤、川島 周  
石野聡子…外来透析患者の下肢病変の実態(口演)●高橋道子、藤井 功、重長佐和子、田尾知浩、萩原雄一、

平岡哲也、道脇宏行、水口 隆、香川和夫、島 健二、水口 潤

祖地香織…シャント流量と再循環率の関連～HD02を使用して～(口演)●石野聡子、新納誠司、生田登美、高橋道子、数藤ゆかり、高橋淳子、香川和夫、水口 隆、水口 潤、川島 周

近藤 郁…高齢者血液透析患者の運動習慣別健脚度評価(口演)●宮本美鈴、吉田和代、藤井 功、近藤悦子、重長佐和子、鈴木智恵、楢山祐子、三宅直美、播 一夫、水口 隆、炭谷晴雄

山田裕深…非対称膜構造EVAL膜EvabraneEK16の臨床評価(口演)●鈴江信行、細谷陽子、水口 潤、川島 周

根本和美…糖尿病腹膜透析患者における血糖コントロール指標(ポスター)●多田浩章、中條恵子、大橋照代、水口 潤、島 健二、川島 周

坂井敦子…外来血液透析患者における3年間の栄養士回診の効果(口演)●浜田久代、原 恵子、森 恭子、水口 潤、川島 周

■第34回徳島心・血管造影研究会(徳島)／7月11日

木村建彦…心嚢内血腫を形成して止血しえた冠動脈破裂の一例(口演)●八木秀介、西内 健

■第79回日本泌尿器科学会四国地方会(高松)／7月15日

日野安見子…グラフト部分移植手術により手背の腫脹が軽快した1例(口演)●深田義夫、炭谷晴雄、林 郁郎、水口 潤

■第233回徳島医学会(徳島)／7月30日

島 健二…糖尿病征圧の戦略(口演)公開シンポジウム

■第10回アクセス研究会記念大会(神戸)／9月2日～3日

深田義夫…バスキュラーアクセス評価におけるbook型装置による血管エコーの有用性(口演)●水口 潤、日野安見子、中村雅将

祖地香織…シャント流量と再循環率の関連～HD02を使用して～(口演)●新納誠司、田尾知浩、奥谷晴美、高橋道子、高橋淳子、東 千鶴、鈴江初美、香川和夫、水口 潤、川島 周

■第20回心血管セミナー(高松)／9月2日

木村建彦…心嚢内血腫を形成して止血しえた冠動脈破裂の一例(口演)●八木秀介、西内 健

■第40回四国透析療法研究会(高知)／9月24日

日根千鶴…外来血液透析中の糖尿病患者の踵部角化緩和・予防ケア(口演)●菊川幸子、薬師神富美、島 健二

水口 隆…Imatinib mesylateにより長期間完全細胞遺伝子的寛解を続けている慢性骨髄性白血病合併血液透析(口演)●水口 潤、川島 周、尾崎修治

三橋和義…透析関連機器の保守管理について(口演)●中川直樹、吉岡典子、中野正史、藤澤めぐみ、田尾知浩

■第18回透析療法カンファレンス(徳島)／10月10日

南 幸…95'阪神大震災-その時-(口演)

■第12回日本腹膜透析研究会(横浜)／10月14日

福原佐和子…出口ケアへのアプローチ(口演)●竹内弘実、小倉加代子、水口 隆、水口 潤

■第48回全日本病院学会徳島大会(徳島)／11月3日～4日

島 健二…糖尿病死亡率全国一位よりの脱却を目指して(口演)特別企画シンポジウム

小倉加代子…当院における褥瘡対策の取り組み(口演)●坂井敦子、大下千鶴、奥谷晴美、藤井眞理、萩原順子、大橋照代、木村貞子、片山幸代、島 健二

新宅真紀…創傷管理に対するスタッフの取り組み(口演)●近藤 恵、藤田都慕、数藤康代、奥谷晴美、大下千鶴

- 藤井真理  
「徳島県立看護学院通信科・添削指導」徳島県立看護学校通信科(徳島市)11/8~19、12/10~18
- 鈴江信行  
「透析装置の自動化における安全性の向上とその問題点」学術雑誌「透析VOICE」座談会(東京)2/2  
「透析液清浄化に伴う周辺知識」味の素ファルマ(株)社員研修会(静岡)2/23  
「血液浄化におけるスペシャリストを目指して」第16回日本臨床工学会(神戸)6/18  
「HDF療法における性能評価」第16回日本臨床工学会(神戸)6/18  
「急性血液浄化療法における臨床工学技士の役割」第6回高知急性血液浄化研究会(高知)7/1  
「透析液清浄化がもたらす臨床評価」第4回血液浄化セミナー(神戸)9/24  
「Over View-透析液清浄化はなぜ必要か?」第5回血液浄化セミナー(徳島)12/17
- 大石晃久  
「介護のためのリハビリについて」ケアハウスあすか(徳島市)12/14

◎座長、司会等(2006年1~12月)

- 島 健二  
第51回日本透析医学会学術大会(横浜)6月23日 座長  
徳島県医師会生涯教育シリーズ(徳島)7月14日 座長  
徳島県医師会生涯教育シリーズ(徳島)9月29日 座長  
徳島県医師会生涯教育シリーズ(徳島)11月7日 座長  
糖尿病フォーラム(徳島)12月1日 座長
- 水口 潤  
ヴァスキュラーアクセスインターベンション治療研究会(東京)3月4日 座長  
ハイパフォーマンスメンブレン研究会(東京)3月11日 座長  
第51回日本透析医学会学術集会(横浜)6月23日 司会  
第51回日本透析医学会学術集会(横浜)6月24日 司会  
第51回日本透析医学会学術集会(横浜)6月24日 司会  
第5回中四国シャントインターベンション研究会(高松)11月5日 司会  
第37回徳島透析療法研究会(徳島)11月26日 司会
- 西内 健  
学術講演会~テーマは血管~(徳島)2月24日 座長  
第4回徳島リスクファクター研究会(徳島)3月11日 座長  
第48回全日本病院学会徳島大会ランチョンセミナー(徳島)11月4日 座長  
第5回中四国インターベンション研究会(高松)11月5日 座長
- 木村建彦  
第3回徳島総合診療研究会(徳島)7月13日 座長
- 土田健司  
第17回急性血液浄化学会(広島)10月6日 司会  
第12回日本腹膜透析研究会(横浜)10月14日 司会  
第12回日本HDF研究会(横浜)10月29日 司会  
第37回徳島透析療法研究会(徳島)11月26日 座長
- 南 幸  
第10回アクセス研究会記念大会(神戸)9月2日 司会  
第18回透析療法カンファレンス(徳島)10月10日 司会
- 藤井真理  
第48回全日本病院学会徳島大会(徳島)11月4日 座長

- 「糖尿病の予防について」盲学校教職員メンタルヘルス研修会(徳島市)10/16  
「退職後の健康管理」定年退職前研修、大塚製薬工場(鳴門市)10/20  
「糖尿病が及ぼすさまざまな病気」健康管理者研究会(徳島市)10/23  
「糖尿病、透析と血管合併症、糖尿病合併症を考える-見過ごされる足の病気」(徳島市)10/26  
「糖尿病の合併症」大塚社員研修会(鳴門市)11/6  
「退職後の健康管理-健やかに老いるために-」徳島雇用支援協会(徳島市)11/20  
「糖尿病の万能薬~1に運動 2に食事 しっかり禁煙 最後に薬」糖尿病フォーラム(美馬市)12/1
- 水口 潤  
「カテーテル感染の現状と対策」血管アクセス研究会(東京)3/4  
「腎疾患の診断と治療」神戸薬科大学同窓会徳島支部研修会第47回学術研修プログラム(神戸)3/26  
「透析液洗浄化、高性能ダイアライザー使用におけるEpo削減効果」第51回日本透析医学会学術集会(横浜市)6/25  
「arteriovenous graft修復と開存率」第15回腎不全外科研究会(新潟)7/7  
「川島病院における透析液浄化と貧血管理」平成18年度大阪透析医会(大阪市)8/5  
「バスキュラーアクセス合併症への対応」第10回福岡市バスキュラーアクセス研究会(福岡市)8/24  
「急性腎不全の病態と治療」若手医師のための腎疾患勉強会(淡路)9/10  
「慢性腎不全の治療:透析療法と腎移植」徳島大学医学部講義(徳島市)9/21  
「透析液の清浄化とその臨床効果」第82回岡山透析懇話会(岡山市)12/2  
「血液透析合併症」日本腎不全看護学会中国・四国教育セミナー(岡山市)12/10
- 西内 健  
「血液透析患者に合併した重症下肢虚血に対するインターベンション治療の経験」腎と心血管フォーラムTokushima(徳島市)2/2  
「ペリフェラルインターベンション」第4回心臓病ビジュアル市民公開講座(徳島市)11/29
- 水口 隆  
「腎性貧血について」血液浄化セミナー(徳島市)5/7  
「腎不全と鉄」東葛クリニック病院講演会(千葉)11/7
- 炭谷晴雄  
「合併症3:神経因性膀胱、勃起障害」徳島県医師会生涯教育シリーズ(徳島市)9/29
- 木村建彦  
「慢性心不全の治療」~慢性心不全の治療戦略を考える~プロプレス慢性心不全効能追加記念講演会(徳島市)2/15  
「冠攣縮性狭心症の治療について」協和醗酵工業(株)徳島営業所社員社内勉強会(徳島市)3/16  
「頻脈性心房細動による心不全」循環器診断連携会(徳島市)10/31  
「日常よく見かける不整脈について」心電図セミナー(徳島市)9/10
- 土田健司  
「バスキュラーアクセスの諸問題」第12回日本HDF研究会、ランチョンセミナー(横浜市)10/28  
「JMS全自動透析装置を用いた内部濾過促進型APSダイアライザーの臨床評価」第12回日本HDF研究会、イブニングセミナー(横浜市)10/28  
「臨床医からみた内部濾過促進型透析の可能性」第12回日本HDF研究会、イブニングセミナー(横浜市)10/28  
「バスキュラーアクセスの作製とトラブルに対する対処法」第1回中部地区バスキュラーアクセス(名古屋)11/17
- 深田義夫  
「糖尿病性神経障害足のフットケアについて」保健師研修会(徳島市)10/29  
「糖尿病合併症4:大血管症、ASO、壊疽」徳島県医師会生涯教育シリーズ(徳島市)11/7
- 小松まち子  
「糖尿病の予防と治療」平成18年度阿南市国保ヘルスアップ教室(阿南市)11/24
- 中村雅将  
「糖尿病性腎症の予防と透析療法について」保健師研修会(徳島市)10/27
- 南 幸  
「徳島県立看護学院通信科・添削指導」徳島県立看護学校通信科(徳島市)

## 編集後記

### ●日下 まき

原稿依頼を快く引き受けて下さったみなさん、ありがとうございました。特に禁煙の特集は記事があつまるかどうか心配でしたが…。禁煙にチャレンジして成功している人って結構いるんですね。すごいです。

### ●新宅 真紀

今年は新しくなった病室・詰所で仕事が出来ます。気持ちも新たに頑張りたいです。

### ●福田 久美

私の主に働いている透析室もリニューアルされ、新しくなりました。私も気持ちを新たに頑張る仕事しようと思っています。

### ●松田 幸子

スタッフのみなさんの協力もあり、とても良い仕上がりになると自負しています。今回川島会のスタッフとして、広報誌作成に参加できた事をうれしく思います。ありがとうございました。

### ●川島 妙

昨年度の広報誌作成の際、今年の広報誌で増改築工事完了のお知らせができると思っていたのですが…。来年こそは、と思っております。もう少しで完成です。

### ●佐々木 由香

今年、初めて広報誌作成に参加して、大変だったけど川島病院の発展を広報誌にできて、とてもやりがいを感じました。

### ●奥尾 康晴

初めて広報誌の作成のお手伝いをさせていただきました。特集ページはとても良い出来になっていますので、ぜひ隅々まで見ていただきたいです。

### ●有木 直美

今回初めて携わりましたが、皆様の協力あつての広報誌だと感じました。これからも頑張っていきますのでご協力お願いします。

### ■永田眞美代

第48回全日本病院学会徳島大会(徳島)11月4日 座長

### ■田尾知浩

第37回徳島透析療法研究会(徳島)11月26日 司会

### ■鈴江信行

血液浄化セミナー(徳島)5月7日 司会

第17回透析療法カンファレンス(徳島)5月25日 司会

第21回ハイパフォーマンスメンブレン研究会(東京)3月12日 座長

第4回血液浄化セミナー(徳島)12月17日 司会

### ■久米恵司

第48回全日本病院学会徳島大会(徳島)11月3日 座長

### ■大橋照代

第48回全日本病院学会徳島大会(徳島)11月4日 座長

### ■浜田久代

第48回全日本病院学会徳島大会(徳島)11月3日 座長

### ■原 雅子

第48回全日本病院学会徳島大会(徳島)11月3日 座長

## ◎治験、学術研究、市販後調査(2006年1月～12月)

### ■治 験

川 島 病 院…第Ⅱ相試験 5件

第Ⅲ相試験 6件

川島循環器クリニック…第Ⅱ相試験 3件

第Ⅲ相試験 1件

鴨島川島クリニック…第Ⅱ相試験 1件

### ■市販後調査

川 島 病 院…5件

川島循環器クリニック…3件

鴨島川島クリニック…2件

鳴門川島クリニック…2件

### ■受託研究

川 島 病 院…5件

### ■共同研究

鴨島川島クリニック…1件